

山辺・県北西部広域環境衛生組合 新ごみ処理施設建設に係る環境影響評価書方法書

説明会



平成29年10月

天理市

目次

1. 事業計画
2. 環境影響評価手続き
3. 環境影響評価項目
4. 調査・予測・評価の手法
5. 今後のスケジュール

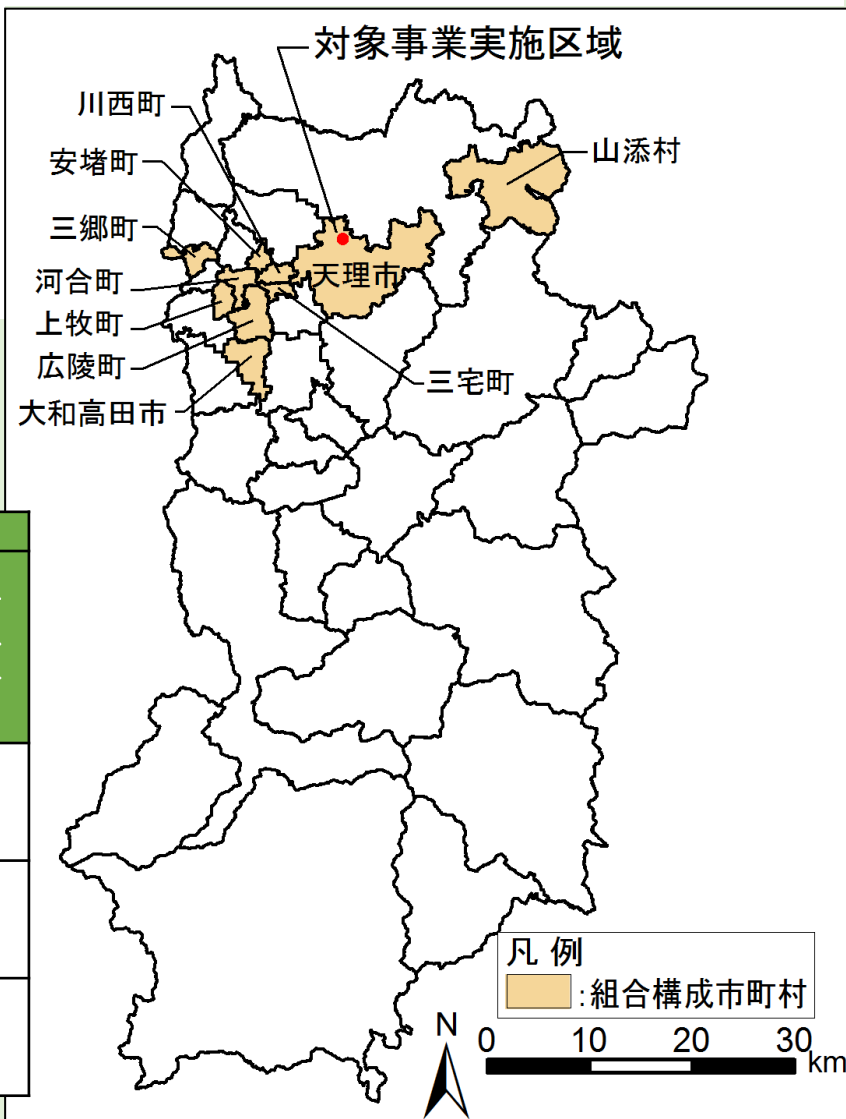
1

事業計画

本事業は、山辺・県北西部広域環境衛生組合により、組合構成市町村内で発生するごみを安定的かつ効率的に処理する焼却施設（可燃ごみ処理）及び粗大・リサイクル施設（不燃・粗大及び資源ごみ処理）を整備することを目的とする。

構成市町村のごみ処理参加区分

区分	構成市町村									
	大和高田市	天理市	山添村	三郷町	安堵町	川西町	三宅町	上牧町	広陵町	河合町
可燃ごみ処理	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不燃・粗大ごみ処理		○	○		○	○	○	○	○	
資源ごみ処理		○			○	○	○	○	○	



現状の問題

天理市の現クリーンセンターは平成36年に
焼却炉の耐用年数を超える

平成36年に新しい施設を稼働する必要あり

構成市町村

1市2町1村

検討

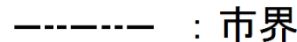
- ・ 広域化による行政効率の向上
- ・ ごみ資源の有効活用
(発電、余熱利用、再資源化等)

組合設立

山辺・県北西部広域環境衛生組合を設立

構成市町村

2市7町1村



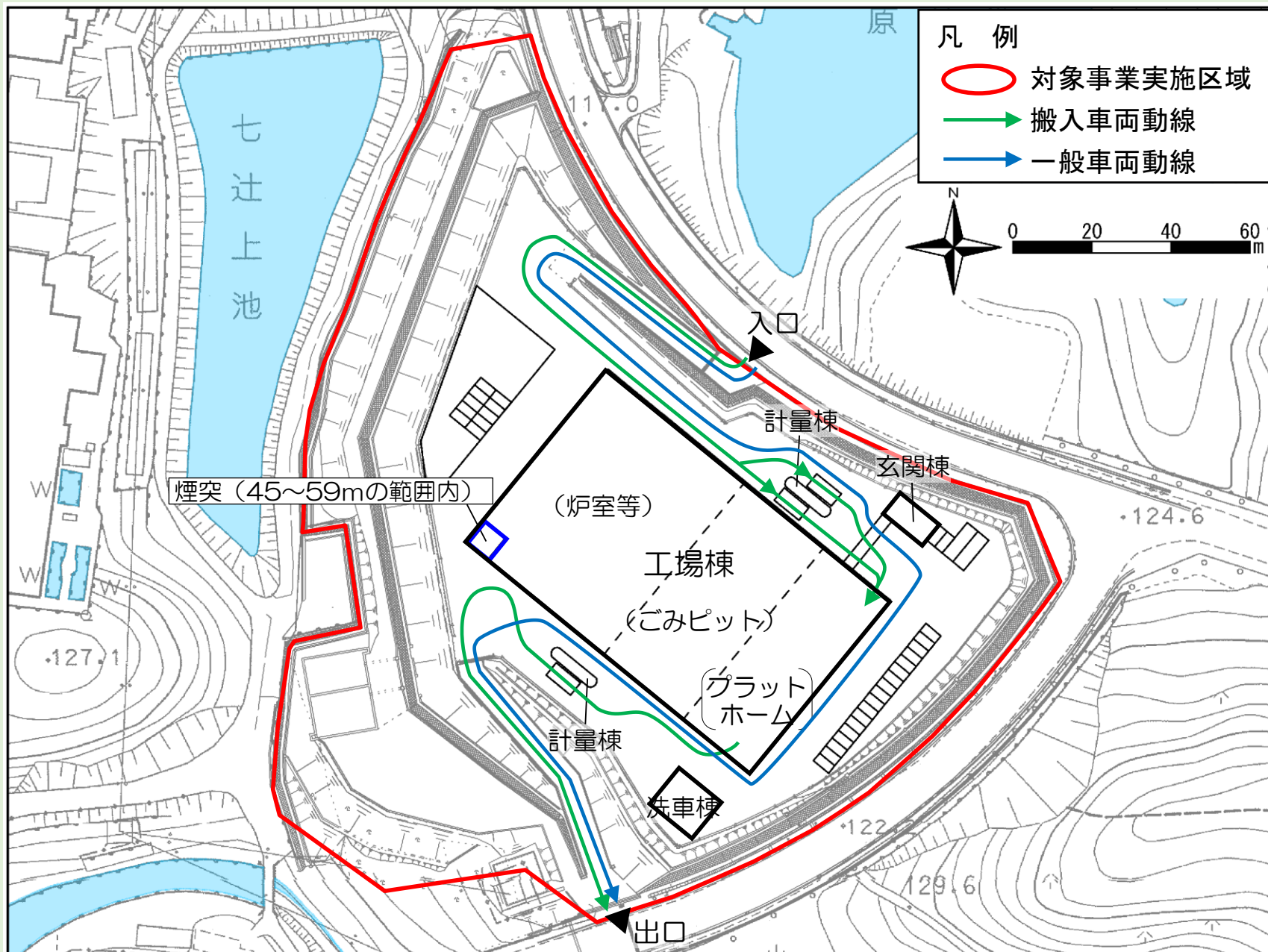
➤ 「奈良県環境影響評価条例」による対象事業の種類

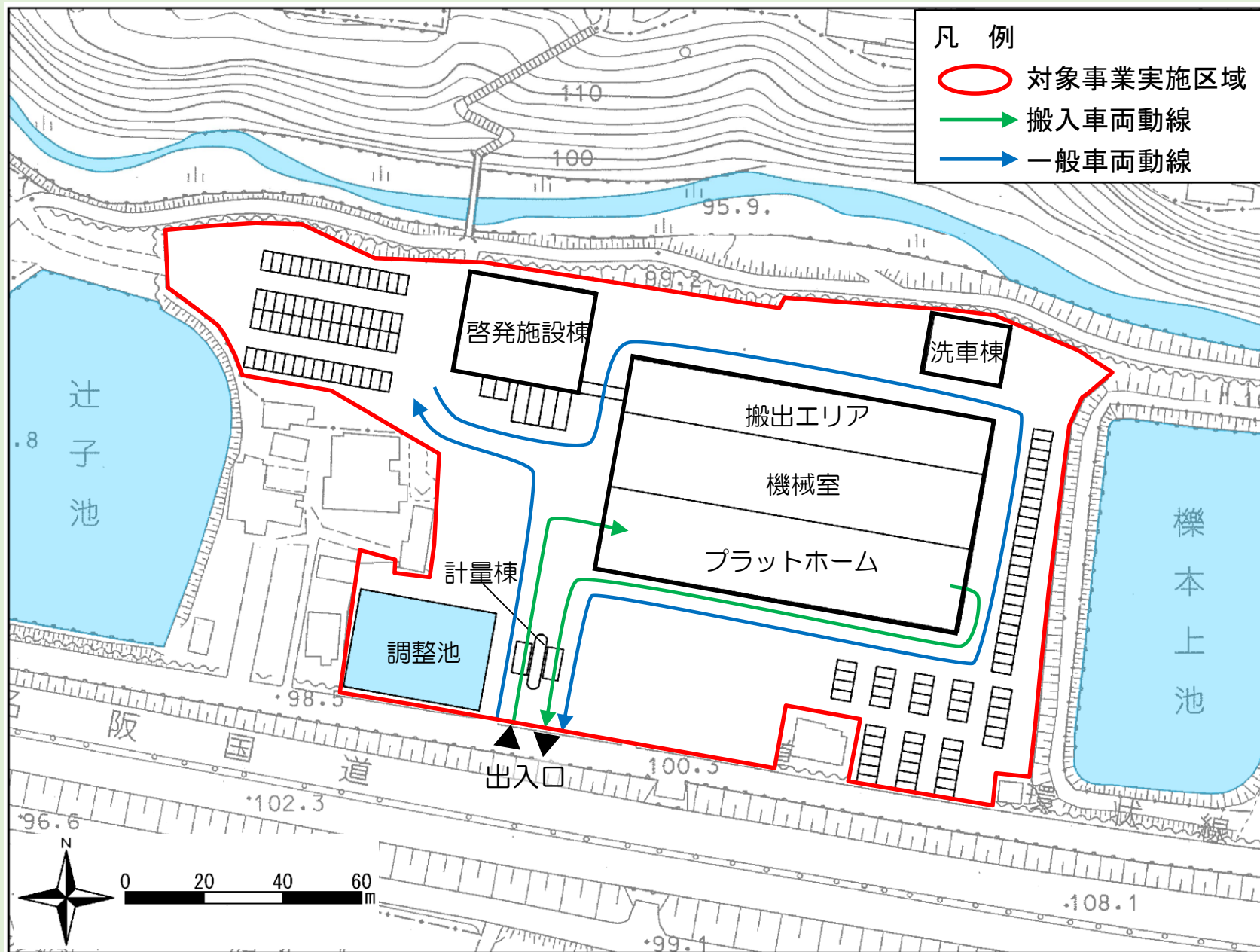
廃棄物焼却施設の設置の事業

➤ 施設規模（焼却処理施設、粗大ごみ処理施設）

施設	項 目	諸 元
焼却施設	処理能力	284 t / 日 (=11.8t/時) (全連続式燃焼方式)
	搬入日数	6日/週
	運転計画	通年、24時間連続運転
	取扱い廃棄物	可燃ごみ、残渣等(可燃物、破碎残渣)
	煙突高さ	45～59mの範囲内 (皆様の意見も参考として、新ごみ処理施設整備検討委員会において平成29年度中に決定予定)
粗大・リサイクル施設	処理能力	23.5 t / 日 (破碎・選別、圧縮・梱包)
	搬入日数	6日/週
	取扱い廃棄物	不燃・粗大ごみ系統 ：不燃物(燃やせないごみ)、粗大ごみ 資源ごみ系統 ：びん、缶、プラスチック製容器包装、ペットボトル、古紙、古着、蛍光管、電池、小型家電

施設配置計画 焼却施設

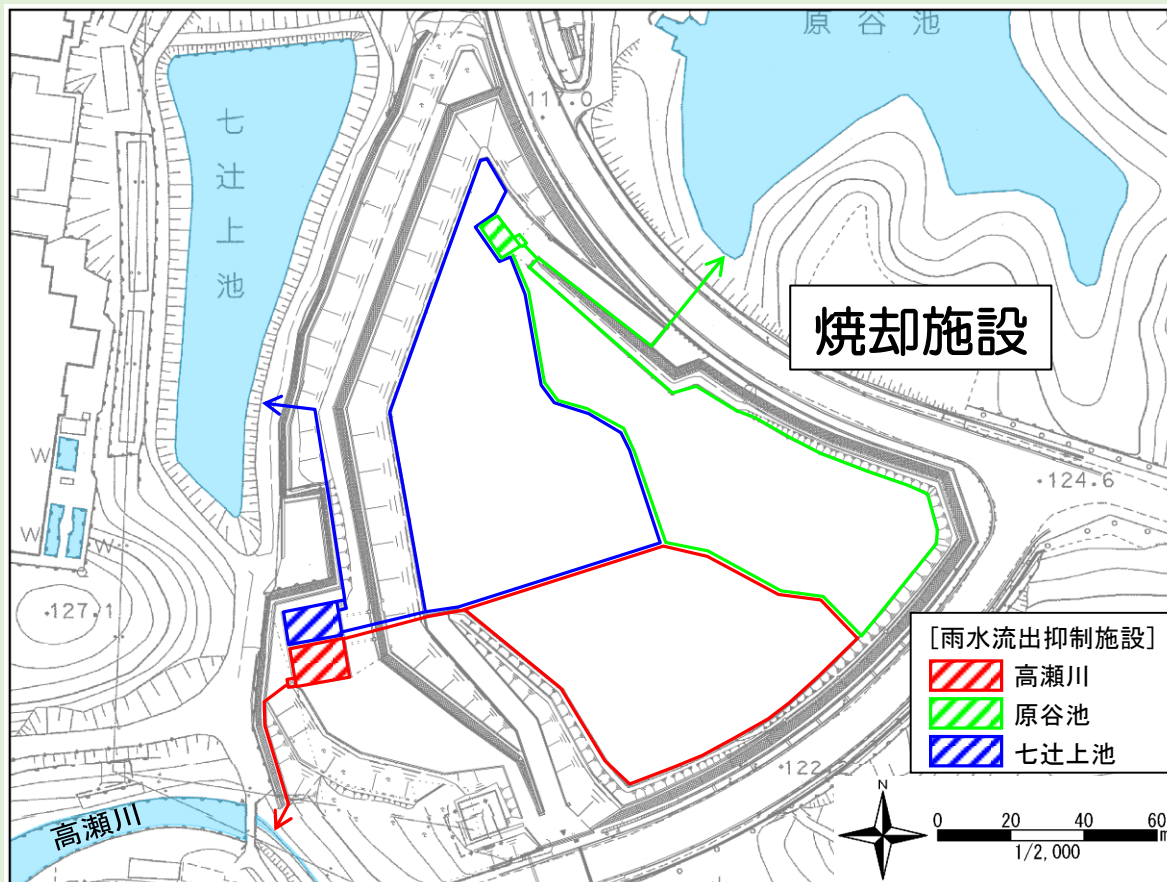




本事業に係る大気質、騒音、振動、悪臭及び水質の法規制値等については、今後、委員会の検討を経て、良好な環境の維持、保全を図るために**法規制値よりも厳しい自主的な公害防止基準値を設定**する計画である。

公害防止に係る法規制値

- 大気質（大気汚染防止法、ダイオキシン類対策特別措置法）
- 騒音・振動（騒音規制法 ・ 振動規制法）
- 悪臭（悪臭防止法）
- 水質（水質汚濁防止法、ダイオキシン類対策特別措置法、下水道法、天理市下水道条例）

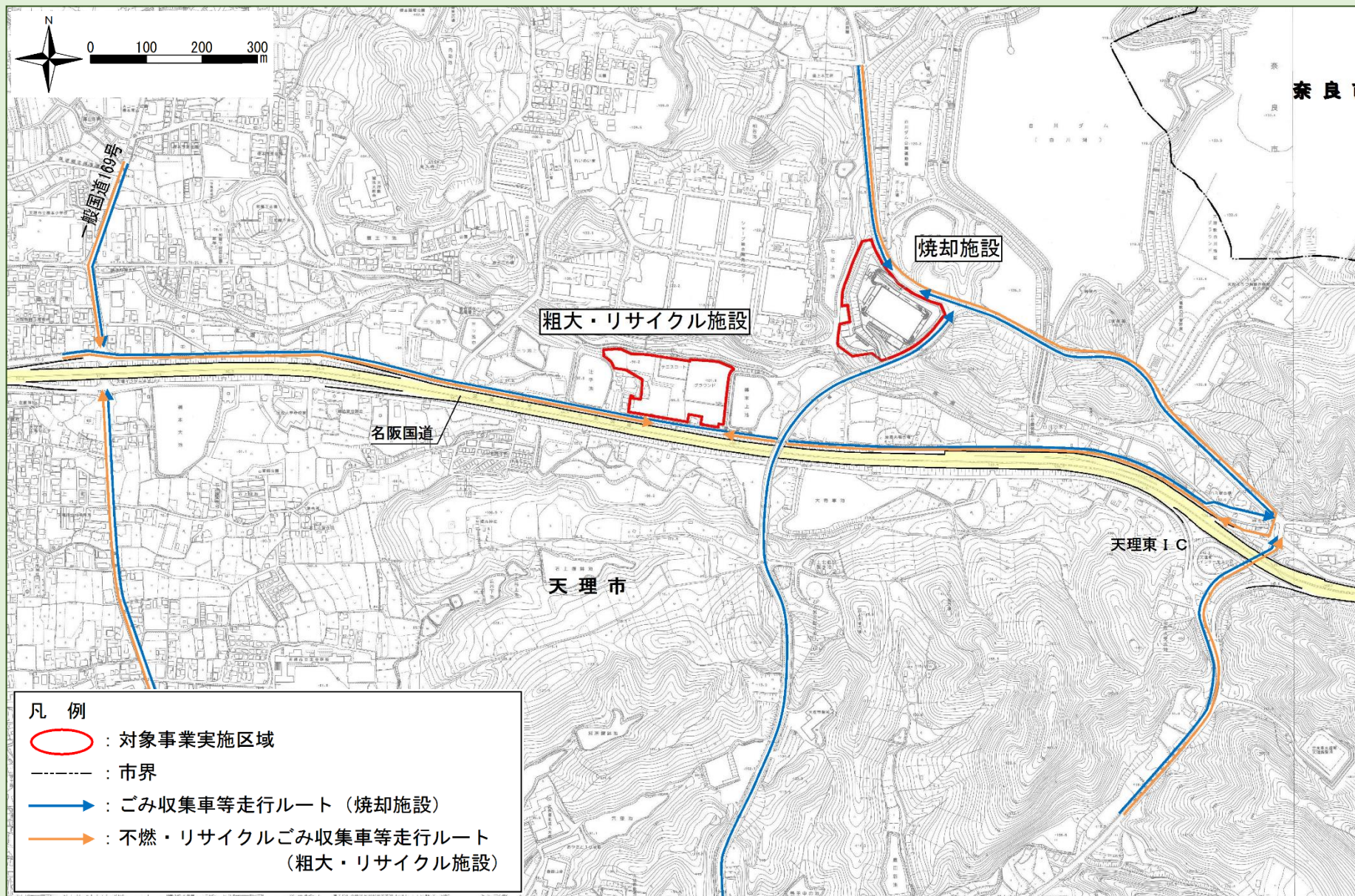


区分	給水・排水	給排水計画
プラント系 給排水	用水及び生活用水	上水を利用
	排水	原則、処理水を循環再利用（排水クローズド）
	排水の再利用しきれない 余剰分及び生活排水	公共下水道に放流
雨水	排水（焼却施設）	既存の雨水流出抑制施設を活用して3系統に分けて 高瀬川、七辻上池及び原谷池に排水
	排水（粗大・リサイクル施設）	雨水流出抑制施設を配置して高瀬川及び高瀬川沿いの 農業用水路に排水

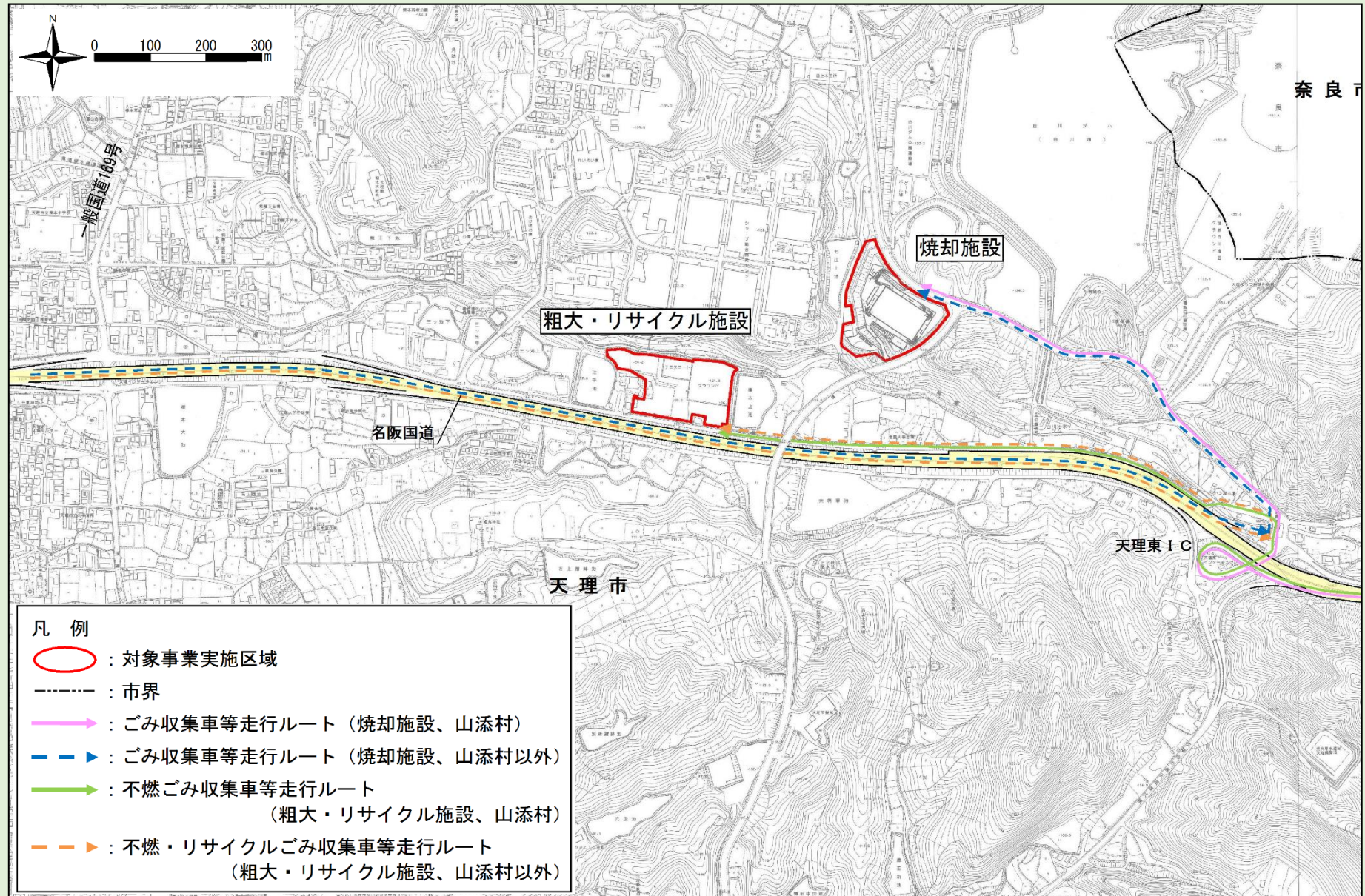
対象施設等		車両	車両台数 (台/日)	使用道路
	市町村			
焼却施設	天理市	収集車両及び許可業者車両 (パッカー車等)	40	一般道
		直接持込車両（普通自動車）※1	65	
	川西町 三宅町 山添村	収集車両（パッカー車等）	10	名阪国道
	大和高田市 三郷町 安堵町 上牧町 広陵町 河合町	積み替え車両（10t車等）	30	名阪国道
	その他車両※2		5	
	小計		150	
粗大・リサイクル施設	天理市		15	一般道
	天理市以外		15	名阪国道
	小計		30	
合計			180	

※1：粗大・リサイクル施設への台数を含む

※2：灰搬出車両等



12 収集運搬計画(天理市以外からの車両ルート)



13

環境影響評価の手続き

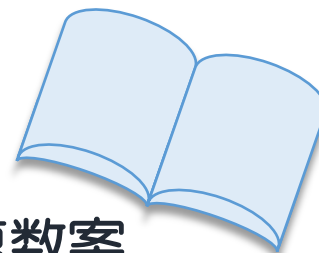
奈良県環境影響評価条例に基づく 環境影響評価（環境アセスメント）手続



- 事業特性や地域特性を踏まえ、環境影響評価項目及び調査・予測・評価の手法を選定します
- 環境審議会や皆様からの御意見を聴きます

配慮書

平成28年12月



- ・ 焼却施設の配置と、煙突高さの複数案
- ・ 各案の環境影響（大気質・景観）の予測結果



方法書

今回は

- ・ 環境影響評価項目の選定
- ・ 環境影響評価の調査・予測・評価手法



環境影響評価項目の選定

環境影響要因

工事の実施



- 工事用車両の運行
- 切土工等
- 建設機械の稼働

土地又は工作物の存在及び供用



- 施設の存在
- 施設の稼働
- 廃棄物搬入車両の運行
- 雨水の排水

環境影響評価項目の選定 ①

環境要素の区分 環境影響要因の区分				工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用			
				工事用車両の運行	切土工等	建設機械の稼働	施設の存在	施設の稼働	廃棄物搬入車両の運行	雨水の排水
環境の自然的構成要素の良好な保持を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	大気環境	大気質	二酸化窒素	○				○	○	
			浮遊粒子状物質	○				○	○	
			二酸化硫黄					○		
			粉じん等	○	○	○			○	
			ダイオキシン類					○		
			その他有害物質					○		
		騒音		○	○	○		○	○	
		振動		○	○	○		○	○	
		低周波音						○		
		悪臭						○		
	水環境	水質	水の濁り		○					○
			水の汚れ							
	土壌に係る環境 その他の環境	地形及び地質	重要な地形及び地質							
			地盤・土壌		○			○		

環境影響評価項目の選定 ②

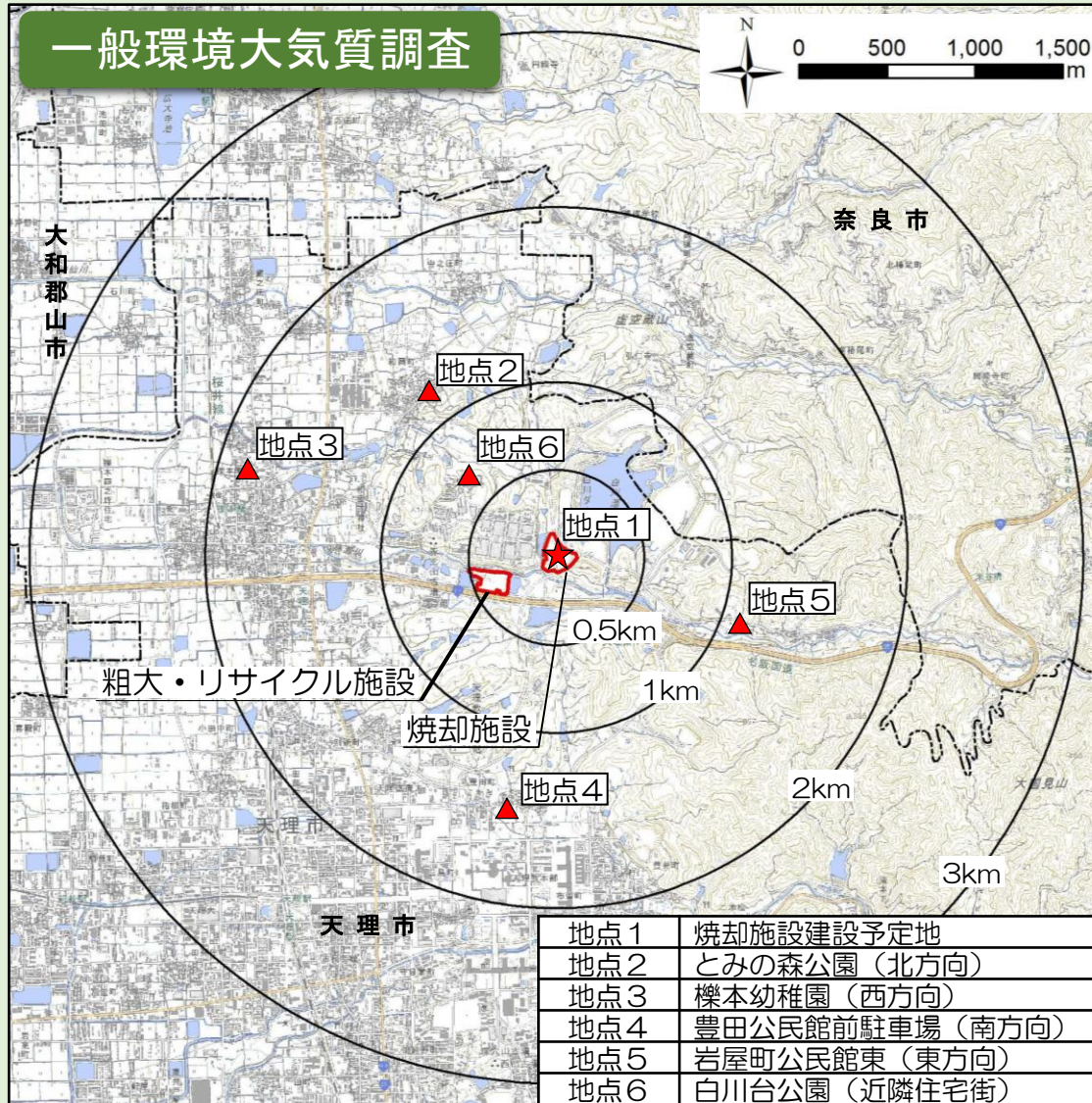
環境要素の区分 環境影響要因の区分			工事の実施			土地又は工作物の存在及び供用			
			工事用車両の運行	切土工等	建設機械の稼働	施設の存在	施設の稼働	廃棄物搬入車両の運行	雨水の排水
生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	動物	重要な種及び注目すべき生息地				○			
	植物	重要な種及び群落				○			
	生態系	地域を特徴づける生態系				○			
人と自然及び文化遺産との豊かな触れ合いの確保を旨として調査、予測及び評価されるべき環境要素	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観				○			
	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○			○		○	
	文化遺産	文化財及び埋蔵文化財包蔵地							
環境への負荷の量の程度により予測及び評価されるべき環境要素	廃棄物等	建設工事に伴う副産物		○					
		廃棄物					○		
	温室効果ガス等	二酸化炭素					○		

調査・予測・評価の手法

【現地調査項目】



一般環境大気質調査



調査期間（一般環境大気質、粉じん等）

1週間連続測定×4季

：一般環境大気質

（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、
二酸化硫黄、ダイオキシン類、
その他有害物質（塩化水素、水銀等）

1カ月連続測定×4季

：粉じん等（降下ばいじん）

調査イメージ（一般環境大気質、粉じん等）



凡例

○：対象事業実施区域
- - -：市界

★：一般環境大気質、地上気象、上層気象、粉じん等調査地点
▲：一般環境大気質、粉じん等調査地点

23 現地調査 一般環境大気質・気象（地上気象）

気象調査



調査期間（地上気象、上層気象）

1時間値の連続測定×1年間

：地上気象

（風向、風速、気温、湿度、日射量、放射収支量）

7日間（8回/日）×4季

：上層気象（風向、風速、気温）

調査イメージ（地上気象）



凡例

○：対象事業実施区域

★：一般環境大気質、地上気象、上層気象、粉じん等調査地点

---：市界

24 現地調査 一般環境大気質・気象（上層気象）

気象調査



調査期間（地上気象、上層気象）

1時間値の連続測定×1年間

：地上気象

（風向、風速、気温、湿度、日射量、放射収支量）

7日間（8回/日）×4季

：上層気象（風向、風速、気温）

調査イメージ（上層気象）



凡例

○：対象事業実施区域
— · —：市界

★：一般環境大気質、地上気象、上層気象、粉じん等調査地点

25 現地調査 道路沿道大気質、道路交通騒音・振動

道路沿道大気質調査

道路交通騒音・振動調査

大和郡山市



調査期間

1週間連続測定×4季

：道路沿道大気質
(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)

平日・休日に各1日(24時間)

：道路交通騒音、道路交通振動、交通量

調査イメージ



交通量



道路交通
騒音・振動

凡例

- ：対象事業実施区域
- ◆：沿道大気質、
道路交通騒音・振動、交通量調査地点
- ：市界

- ：ごみ収集車等走行ルート(焼却施設)
- ：不燃・リサイクルごみ収集車等走行ルート
(粗大・リサイクル施設)

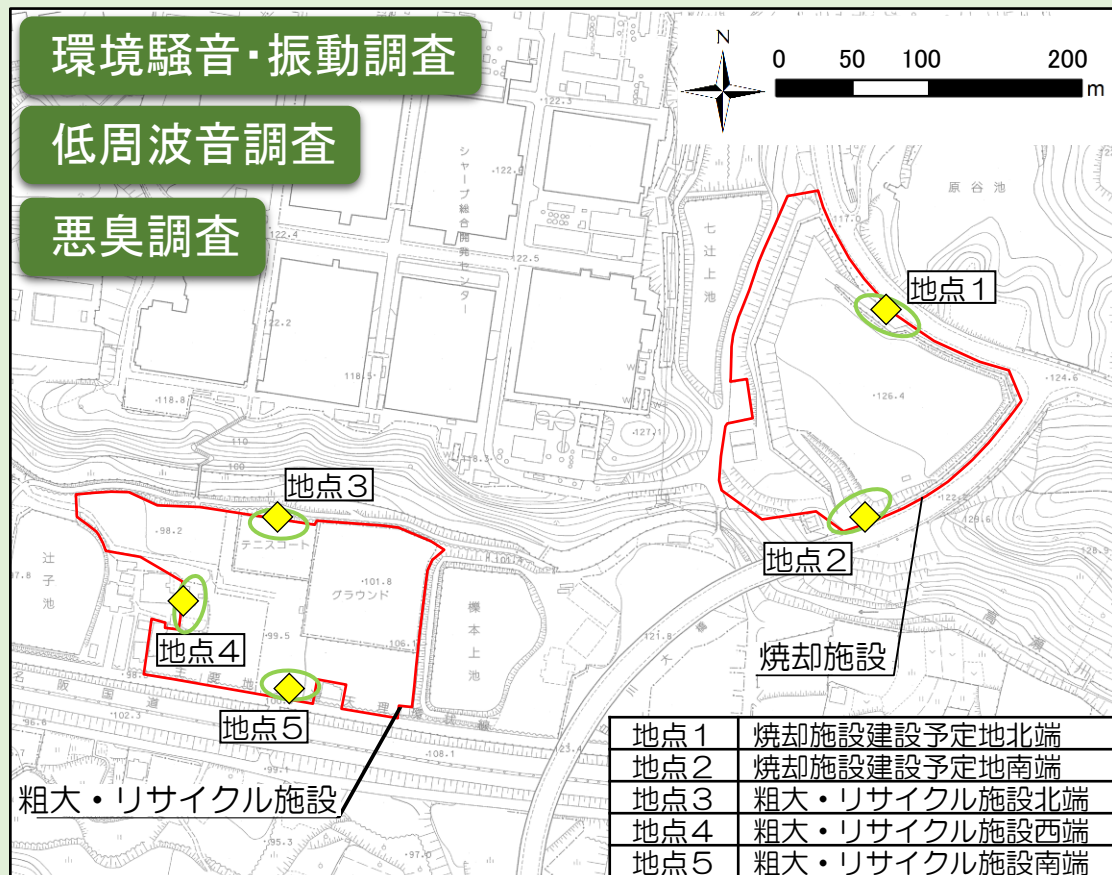
調査・予測・評価の手法

26 現地調査 環境騒音・振動、低周波音、臭気

環境騒音・振動調査

低周波音調査

悪臭調査



凡例

○ : 対象事業実施区域 ◆ : 環境騒音・振動、低周波音調査地点
○ : 悪臭調査地点

調査期間

平日・休日に各1日(24時間)

: 環境騒音、環境振動、低周波音

夏季に1回

: 悪臭(特定悪臭物質濃度、臭気指数)

調査イメージ

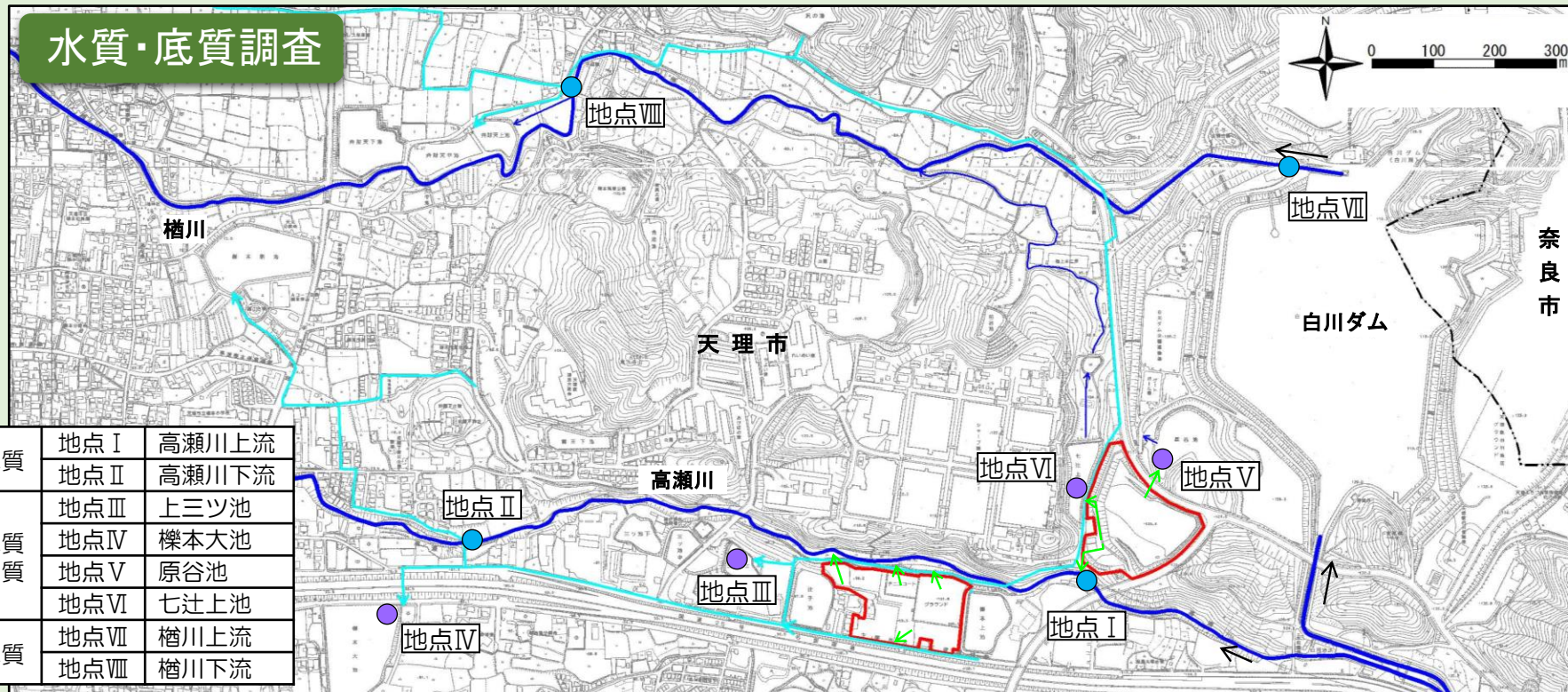


環境騒音・振動



悪臭

水質・底質調査



凡例

- : 対象事業実施区域
- · — · — : 市界
- (blue) — : 河川
- (cyan) — : 農業用水 (白川ダム)
- (green) : 排水経路 (雨水)
- (blue) : 水質調査地点 (水質のみ)
- (purple) : 水質調査地点 (底質を含む)

調査期間

➤ 水質

4季に各1回【平水時】

: 生活環境項目、流量

2季 (夏季・冬季) に各1回【平水時】

: 健康項目、ダイオキシン類

2回【降雨時】

: 浮遊物質、濁度、流量

➤ 底質

1回【平水時】

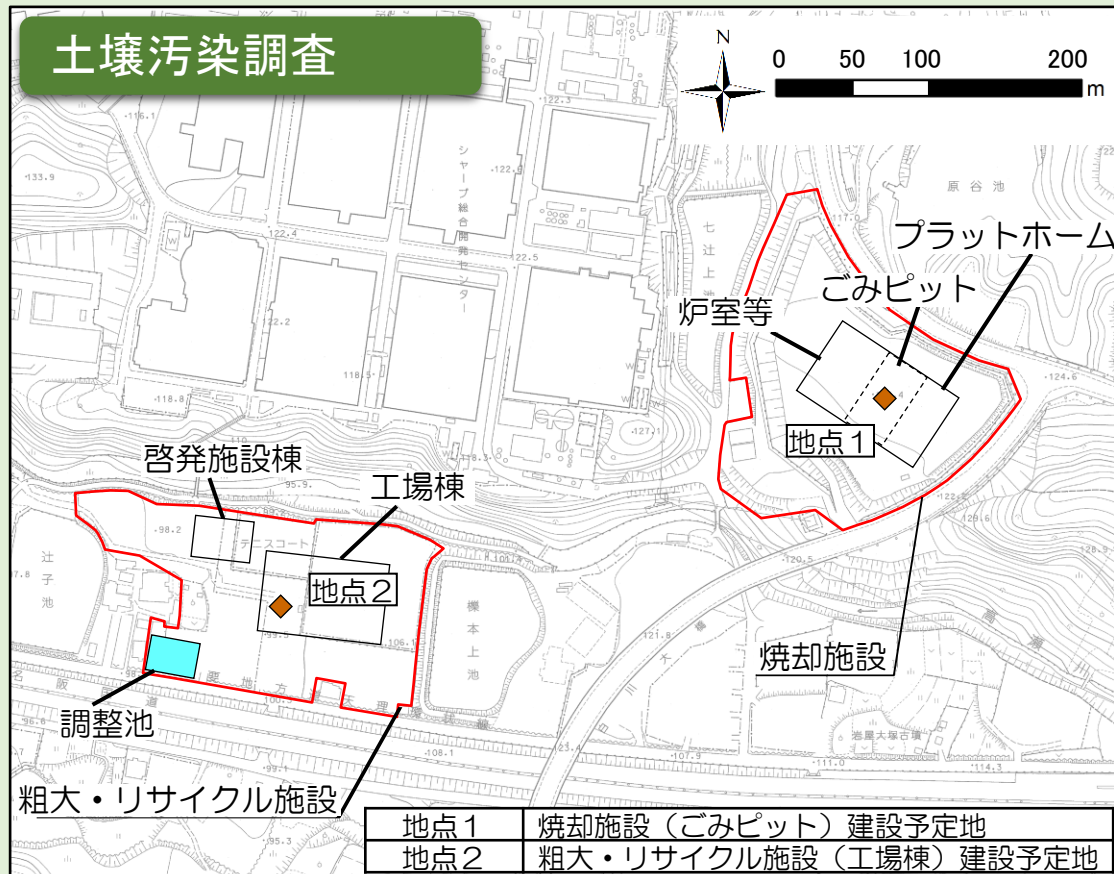
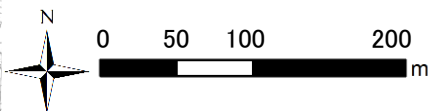
: 土壤環境基準項目、ダイオキシン類

調査イメージ

水質



土壌汚染調査



調査期間

1回

：土壌環境基準項目、ダイオキシン類

調査イメージ

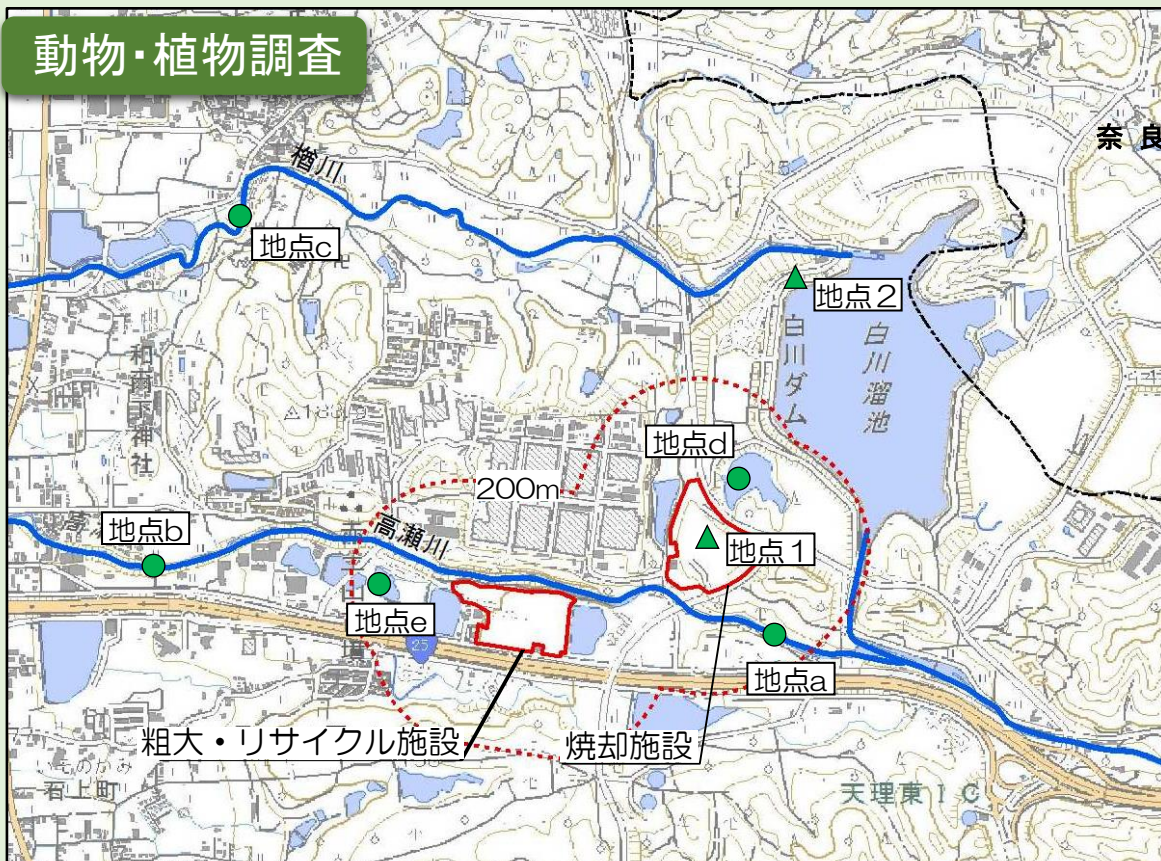


土壌汚染

凡例

- ：対象事業実施区域
- ：各種施設建設予定地
- ◆：土壌汚染調査地点

動物・植物調査



凡例

- : 対象事業実施区域
- : 動物・植物調査範囲 (半径200m)
- : 市界
- : 河川
- ▲ : 猛禽類調査地点
- : 魚類・底生動物調査地点



猛禽類	地点1	焼却施設建設予定地
	地点2	白川ダム北西湖畔
魚類・底生動物	地点a	高瀬川上流
	地点b	高瀬川下流
	地点c	櫛川下流
	地点d	原谷池
	地点e	上三ツ池

調査期間

➤ 動物

4季に各1回

：哺乳類、鳥類、両生・爬虫類、
魚類、底生動物

2月～8月 (3日連続/月) × 2営業期

：猛禽類

3季 (春・夏・秋) に各1回：昆虫類

2季 (春・秋) に各1回：陸産貝類

➤ 植物

4季に各1回：植物相

2季 (春・秋) に各1回：植生

調査イメージ



植物調査



鳥類調査

調査・予測・評価の手法

[illegible]


 } : サイクリングコース
 及びハイキングコース

予測の基本的な手法



A) 計算やシミュレーションなどによる方法

B) イメージ写真などによる視覚的な方法

C) 調査結果・事業計画・類似事例などに
基づいた方法

評価手法

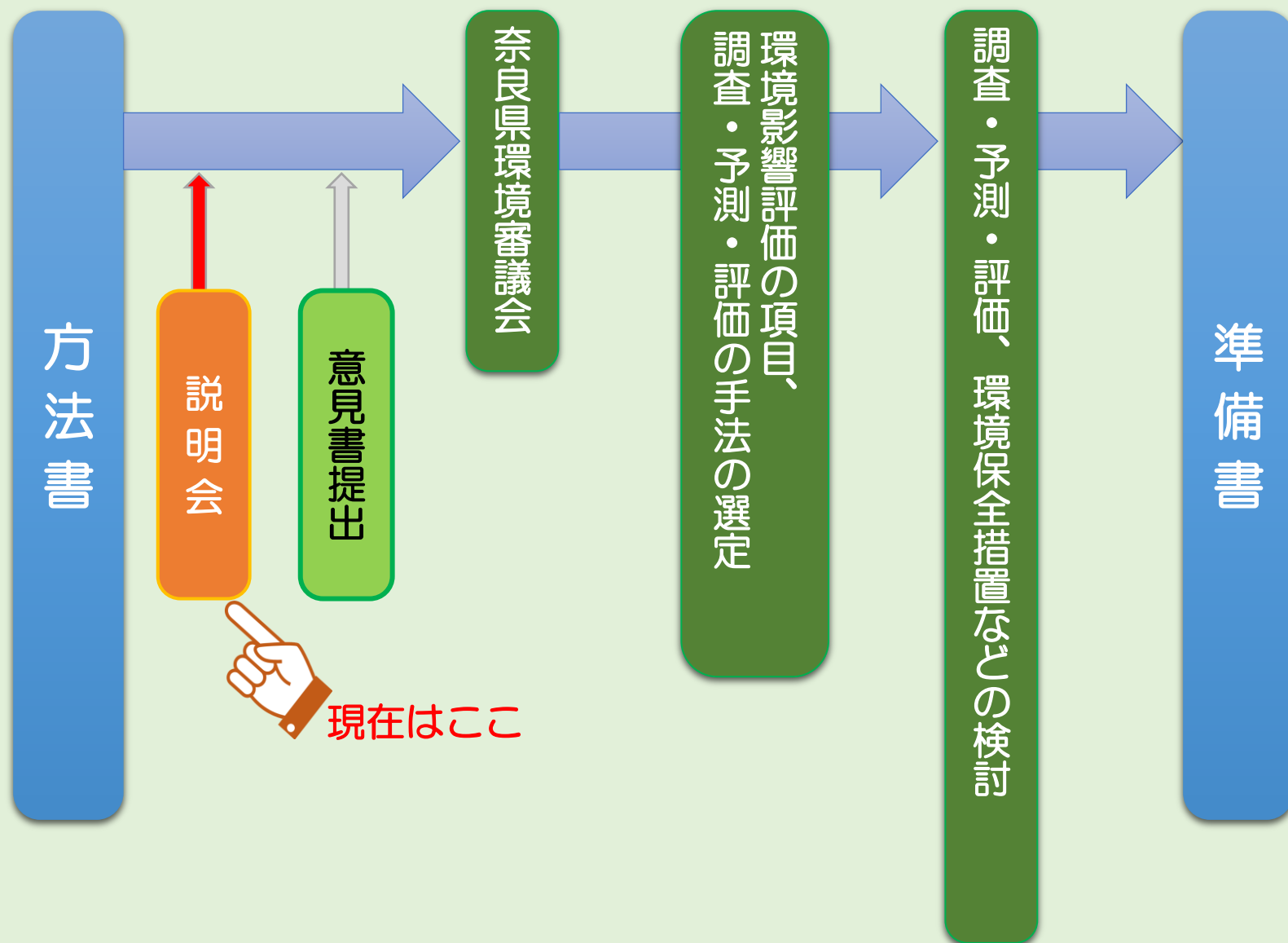
基準・目標との 整合

環境基準・規制基準などの、環境保全のための目標や法令の規制値との整合が図られているか。

回避・低減

対象事業に係る環境影響ができる限り回避又は低減されているか。

今後のスケジュール



方法書の縦覧方法

縦覧期間	平成29年9月28日（木）～10月27日（金） ※いずれも開庁・開館時のみ
縦覧場所	➤ 奈良県くらし創造部 景観・環境局 環境政策課 ➤ 奈良市保健所・教育総合センター 保健・環境検査課 ➤ 大和郡山市産業振興部 環境政策課 ➤ 天理市環境経済部 環境政策課 ➤ 天理市建設部 まちづくり計画課 ➤ 山辺・県北西部広域環境衛生組合事務局

インターネットによる電子縦覧

山辺・県北西部広域環境衛生組合のウェブページからご覧になれます

<http://www.yamabe-kenhokuseibu.jp/>

検索



ご清聴ありがとうございました

－お問い合わせ先－

山辺・県北西部広域環境衛生組合事務局

電話 0743-63-1001（内線380）

FAX 0743-63-3915